

市内グループ訪問記

ガザマシマ

里親会のふっせんかすらを訪ねて

Part1



「ほかほかふれあいフェスタ」であじさい会館ロビーの里親制度啓発ブースを訪ねました。応対いただいたのは、相模原市里親養育包括支援センターの里親リクレーター内山さんと里親等委託調整員、ごとも里親のマッチング担当の田中さん。

相模原市には里親さんが100組以上いて約50人の里さんがいます。里親さんを募集中です。

読者の皆さんには「子どもボーリング大会」に参加いただいた「中心会」と「相模原南児童ホーム」の児童の皆さんを以前ご紹介していますがこちらの所属です。



内山さん(左)と田中さん

10月は全国里親月間。里親制度の理解を深めるために国が位置づけているもので相模原市は各所で啓発活動をしています。こちらのブースでは里親制度についての案内や活動内容の詳細のパンフレットを配布しています。お時間がある方には里親クイズをお願いしています。・里親は子どもを選んで引き受けることができます。・里親には国や市からこ



もの養育費用の支払いがある。ほかにも8つのクイズがあります(中段に掲載)。クイズに参加すると、ボールペンを貰えます。

里親制度のクイズです。解いてみてください。(○か×)

1. 相模原市に里親は100組以上いる。
2. 里親が多い区は南区である。
3. 共働きでも里親になれる。
4. 里親には国や市からこどもの養育費の支払いがある。
5. 実子がいても里親になれる。
6. 里親になるための研修がある。
7. 里親になるには子育ての経験や資格が必要である。
8. 里親はこどもを選んで引き受けることができる。
9. 里親同士が支え合える仕組みがある。
10. 里親には施設の子を預かる活動や緊急に一時的に預かる活動もある。

1. ○ 2. ○ 3. ○ 4. ○ 5. ○ 6. ○
7. × 8. × 9. ○ 10. ○



クイズに挑戦する来場者



社会福祉法人中心会 相模原市里親養育包括支援センター
「ふっせんかすら」

〒252-0231 相模原市中央区相模原 5-1-20 南栄ビル 402

TEL : 042-704-8433

E-mail : minami-satooya@chusinkai.jp



「ふっせんかすら」とは植物の名前で、相模原市の里親会のシンボルマークです。花と葉は「あなたと共に、あなたと飛び立ちたい」。里親さんを支える意味を込めて名付けたそうです。種を包む胞子が風船のように里親家庭を「ふわっ」と包み込める組織でありたいという思いからです。

あじさい会館1階に皆さんもご存じの売店「バオバブ」がありますが、内山さんはこちらのメッセージカードを利用して里親さんにお手紙を送っているそうです。「季節を感じる切り抜きのあるカードはおしゃれで温かく、ただ飾るだけでも素敵なので利用しています」とおっしゃっていました。

次回は相模原駅近くの相模原市里親養育包括支援センターをお尋ねして具体的な活動について取材するお約束をいたしました。次号でご紹介したいと思います。

・里親リクレーターは広く市民に里親制度を知ってもらうための啓発活動や里親新規開拓に向けた活動を行います。里親希望者の面接、家庭訪問等を行います。

・里親とこどものマッチング担当は里親とこどものマッチングを関係機関と検討したり、里親とこどもが安心して里親家庭での生活がスタートできるよう、交流の機会を調整します。

(高橋 荒谷)